

1 事業概要

		課名	企画課	事業No.	30
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H19	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画				
	法令・例規等		自治基本条例	いいだ未来デザイン会議条例	
事業目的	対象	いいだ未来デザイン2028（総合計画）			
	意図	取組を評価し、改善や工夫による向上を図り、地域のビジョンを実現する。			

2 事業内容

30年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)			
	いいだ未来デザイン2028がスタートして二年目を迎え、未来ビジョンの実現に向けて、戦略計画と分野別計画を中心に取り組んできました。 戦略計画に係る自己評価と市議会、市民会議による外部評価を通して、課題を確認し「2019（令和元）年度戦略計画」の作成に反映しました。また、緑ヶ丘中学校で「いいだ未来デザイン2028」を題材に授業を設けていただくなど、次代を担う若者世代にも飯田市の未来について考えていただくことができました。 また、効果的に事業が推進できるよう、庁内マネジメントシステムを見直して事務の減量化に努めました。		いいだ未来デザイン2028推進				87			
			事務事業進行管理表システム保守・改修				227			
			その他の経費				0			
			指標名（数値で表せる活動量）		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度	令和2年度
			いいだ未来デザイン会議開催		回	7	1	1		
30年度 決算 (千円)	予算額		828	特定財源内訳及び補足事項						
	決算額		314							
	財源の 状況	国庫支出金	0							
		県支出金	0							
		地方債	0							
その他		0								
一般財源		314								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	9	11	20	828	314	いいだ未来デザイン推進事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・平成30年度戦略計画の中間評価（自己評価）では、進捗状況確認指標が目標に向かって適切に把握できる指標であるかを検討しましたが、定量的に把握することが難しいものも混在しており、目標達成に向けて、きちんと現状を把握することが必要です。 ・戦略計画の見直しについては、厳しい財政状況を考慮し、中長期的な視野にたつて事業を組み立てることが必要です。							
上記の課題解決のための有効策		・進捗状況確認指標の見直しや新たな参考指標等の設定に努めます。 ・戦略計画は単年度で変更可能ですが、未来ビジョンの実現に向けて、数年先を見据えた段階的な取組を検討します。							
次年度に向けての取り組み		・必要に応じて進捗状況確認指標の見直しを行います。また、参考指標に県内における順位付けや近隣自治体の数値等を掲載するなどし、現状把握がきちんとできるようにしていきます。 ・平成30年度戦略計画の実績評価（自己評価）において、今後3年間の事業展開を整理していきます。							